

ある町の 天気相談所

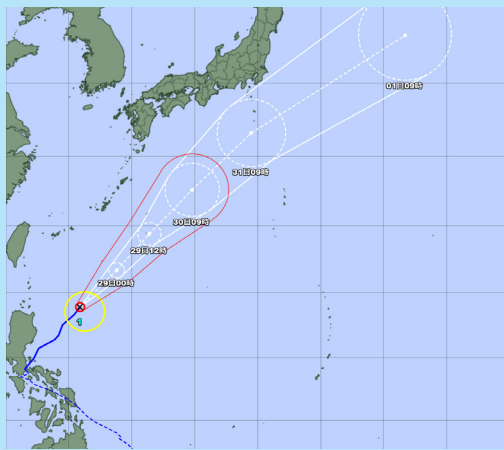
Vol.78 2024.06.07

令和6年6月号



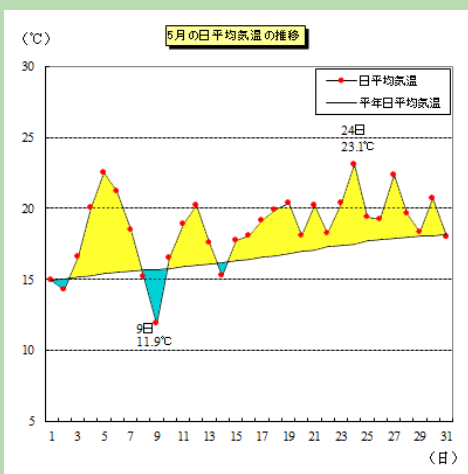
台風第1号

2024年の台風第1号は5月26日発生しました。第1号の発生としては統計を取り始めてから7番目に遅い記録となりました。31日には伊豆諸島付近で温帯低気圧に変わりました。図は5月28日12時の台風の位置と進路予想図（気象庁ホームページか）



5月の気候

5月は、高気圧と低気圧が周期的に進み、後半は南の海上から本州上に前線が停滞することが多くなったため、天気が周期的に変化しました。平年より高い気温の日が多く、月平均気温は18.6度と平年よりかなり高く、5月として最も高くなりました。また、最高気温の平均も最も高くなりました。月合計日照時間は171.7時間と平年並。月合計降水量は170.5ミリと平年の107%と多くなりました。



一ヶ月予報（気象庁発表）

天気は平年と同様に曇りや雨の日が多く、暖かい空気に覆われやすい予想です。平均気温は「高い」、降水量は「ほぼ平年並み」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。

台風について

台風について、気象庁が統計を取り始めた1951年からの記録を集めています。（2023年までの統計です）

発生数は最多で39個（1967年）、最小で14個（2010年）となっています。

上陸数は、最多で10個（2004年）最小は0個、つまり上陸しなかったです。

（1984年、1986年、2000年、2008年、2020年の5回あります）

接近数は、最多で19個（1960年、1966年、2004年の3回）。最小で4個（1973年）です。なお2004年は上陸数、接近数とも最多で、29個の台風が発生し、うち19個が接近、そのうち10個が上陸しました。

台風上陸が最も早かったのは4月25日（1956年）で鹿児島県に上陸、なお、二番目は5月27日で千葉県房総半島に上陸しています。最も遅い上陸は11月30日（1980年）で、和歌山県です。

平年値で見ると、発生数は年間で25.1個、接近数は11.7個、上陸数は3個となっており、関東地方への接近数は年間3.3個となっています。

上陸時の中心気圧が低いのは925ヘクトパスカルで、1961年9月16日に高知県室戸岬に上陸した18号で、第2室戸台風と呼ばれている台風です。

参考資料、気象庁ホームページ等

天気用語の基礎知識

台風等を起因とする特別警報

特別警報が発表される条件として、大雨特別警報は、雨を要因とし、大雪特別警報は雪を要因としているが、暴風、高潮、波浪、暴風雪の各特別警報は、台風等を要因としている。数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により発生する際に発表される。数十年に一度の強度とは「伊勢湾台風」級で、中心気圧が930ヘクトパスカル以下又は最大風速50メートル以上の台風や温帯低気圧が相当する。（沖縄、奄美地方及び小笠原諸島については、910ヘクトパスカル以下60メートル以上）

……神峰の山から……

先日、携帯電話（スマホ）に電話がかかってきました。茨城県警察本部からの電話でびっくりして出ると、この番号から110番通報があり折り返したとのこと。さらにびっくり。お詫びをして通話を終了しました。使用しているスマホにはある操作をする緊急通報する機能があるのですが、靴の中に入れて持ち歩いているときに、それが作動したようです。機能をオフにしていたのですが、何かの関係で機能がオンになっていたようです。設定の確認や見直しも随時必要ですね。

大変御迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。